

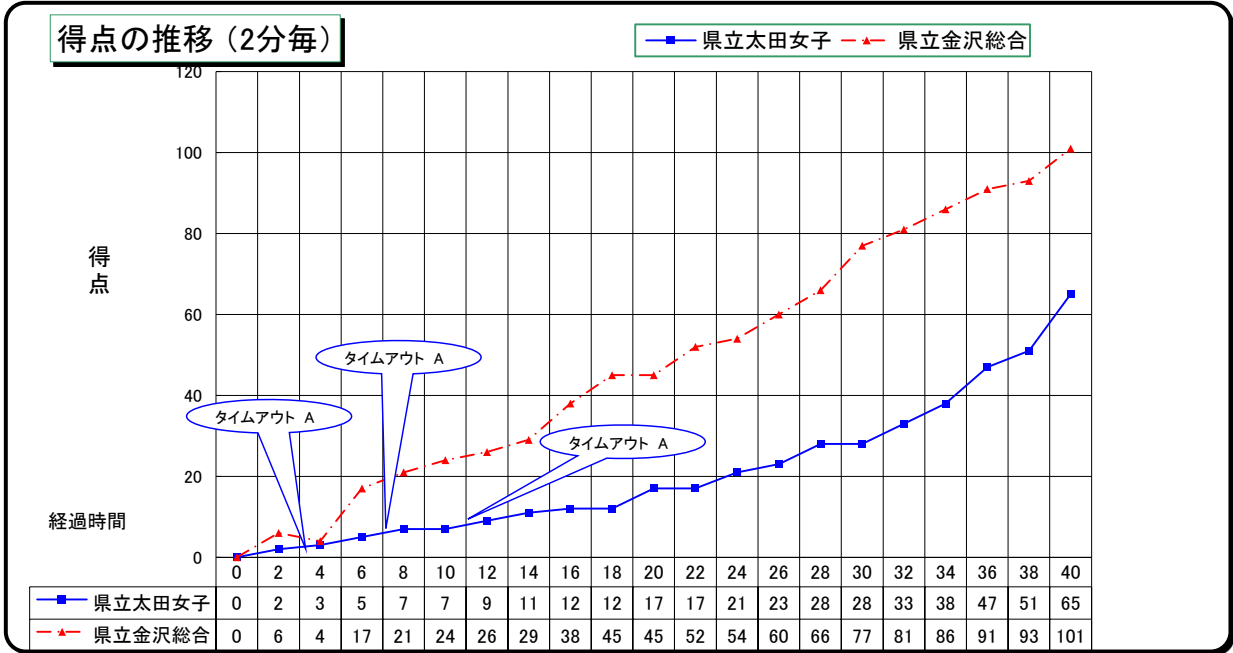
平成23年度 第22回 関東高等学校バスケットボール新人大会
【女子】＜1回戦＞

平成24年 2月11日(土)	ひたちなか市総合運動公園総合体育館	大会1日目	Dコート	第2試合 10:30～
<チームA> 県立太田女子 群馬	65 { 7 1Q 24 10 2Q 21 11 3Q 32 37 4Q 24 } 101		<チームB> 県立金沢総合 神奈川	
主審: 尾花 幸雄(茨)		副審: 中村 陽子(茨)		

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
◎	4	飯泉 杏樹	18	1	4	7	1
◎	5	柴多 陽子	18	1	6	3	4
◎	6	野口 真央	2		1		1
◎	7	川合 美香	4		2		5
◎	8	高橋 梓	4		2		
○	9	清水紗由美	3	1			
○	10	齋藤楠都美					
○	11	田村 美樹	4		1	2	2
○	12	櫻井あかり	3	1			
○	13	岡部 理沙	6		3		1
○	14	小澤 宜子	2		1		
○	15	間野 澤奈					
○	16	萩原 なみ	1			1	
○	17	飯村 奈未					
○	18	松島 幸恵					
コーチ 洪澤 克利							
合計			65	4	20	13	14

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
◎	4	荒木 千広	12		5	2	2
◎	5	遠藤まなみ	5	1		2	
○	6	五十嵐律美	10	2	2		1
◎	7	稲井 桃子	2		1		
◎	8	星澤 真	16		7	2	2
○	9	青木 美優	17		8	1	2
○	10	清田 瑞帆	4		1	2	2
○	11	土師 恵美					2
○	12	金指セイディー	2		1		2
◎	13	吉成 文	5	1	1		1
○	14	大沼明日郁	13	3	2		3
○	15	八木澤里奈	4		2		1
○	16	三上 夏侑	9	3			
○	17	大槻 美咲	2		1		
○	18	今泉真奈美					1
コーチ 清水 麻衣							
合計			101	10	31	9	19

◎:スターター / ○:出場 / 3P:3点シュート(本数) / 2P:2点シュート(本数) / FT:フリースロー(本数) / Foul:パーソナルファウル



戦 評	記入者: 宮河 猛
第1P、両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。太田女子(以下太田)は⑤柴多のドライブイン、⑦川合のインサイドを中心に攻撃を組み立てる。一方、金沢総合(以下金沢)は⑧星澤のインサイドで確実に加点し、好調な出し切りを切る。太田はタイムアウト後、2-3ゾーンディフェンスに変え、インサイドを固める。しかし、金沢は⑩三上の3p(シュート)、⑧星澤のリバウンドシュートなどで点数差を広げる。24-7で金沢のリードで第1P終了。 第2P、両チーム、ディフェンスは変わらず。第1P得点が伸びなかった太田は④飯泉のドライブイン、⑦川合のインサイドで活路を見つけようとするも、金沢の堅い守りを破れない。一方、金沢は⑥五十嵐の3p(シュート)や④荒木のインサイドで得点を伸ばす。45-17と金沢が更にリードを広げて前半終了。 第3P開始から太田はオールコートゾーンプレスを仕掛け、流れを掴もうとする。しかし、金沢は冷静にボールを運び3連続得点を決め、逆に流れを作る。たまたらず、太田はタイムアウト。タイムアウト後、太田は⑤柴多のドライブインやナンバープレイで得点していく。一方、金沢はインサイドとアウトサイドの組合せが良く、効果的に攻める。⑨青木のインサイドなどで点差を広げ、77-28で最終クォーターへ。 第4P、両チームともディフェンスの変更はなし。太田はディフェンスのプレッシャーから相手のミスを読み、⑬岡部や⑤柴多のドライブインなど速い攻めで得点を奪っていく。一方、金沢は得点差を有意に用いて、冷静に試合を運ぶ。太田は第4Pだけで37点を取る猛攻を見せるも、第3Pまでの点差を埋めることができず、99-63で試合終了。金沢が堅い守りと冷静なゲーム運びで2回戦へと勝ち進んだ。	